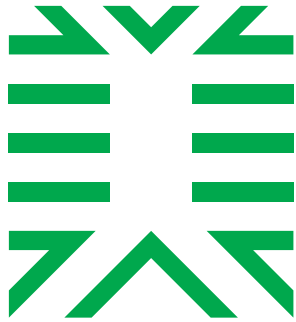


あ
る



術
館
の



休
み



<https://www.ccmn-net.jp>



Untitled (The Museum Elements #61), 2022 © Gottingham
Image courtesy of Chiba City Museum of Art and Studio Xxingham



三代歌川豊国《市川海老蔵の碓井荒太郎貞光（市川海老蔵の暫）》
文久3年（1863）千葉市美術館蔵

2022.7.16 (SAT) — 9.4 (SUN)



中崎 透 | ミヤケマイ | 清水裕貴 | 津田道子 | 目[mé] | 小川信治 | 華雪 | きぐう編集室
山野英之 | 井口直人 × 岩沢兄弟 | Mitosaya 薬草園蒸留所 | 井上尚子 | 文化屋雑貨店

(new) service [西館朋央 + Rondade]

開館時間 → 10:00 - 18:00 (金・土曜日は20:00) * 入場受付は閉館の30分前まで
休館日 → 8月1日(月) 休室日 → 7月25日(月)、8月15日(月)
主催 → 千葉市美術館
協賛 → 箔座株式会社、TOKYO ACRYL
協力 → さふらん生活園、island JAPAN、SCAI THE BATHHOUSE、
SHISEIDO THE STORE、TARO NASU



千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

2022.7.16 (SAT) — 9.4 (SUN)

「夏休み」といえば、海水浴や縁日、お盆のお墓参り、旅行、自由研究……とさまざまなものが思い浮かびます。それは子どもから大人まで、誰にとっても、いつもとちょっと違う時間に出会う、ささやかで特別な経験ではないでしょうか。

では、美術館の夏休みは、どんなものなのでしょう？ 現代美術家の新作と古美術作品。アート作品とプロダクト。普段は一緒に展示されることが少ない、さまざまな表現者と所蔵作品とのコラボレーションを通して、美術館という場所そのものを「日常と非日常のあい」から眺めてみたいと思います。

想像を超える出来事ばかりが現実になるいまだからこそ、美術館という場所に降り積もった時間や記憶に触れ、誰かの、そしてあなたの「日常」と出会い直してみませんか？

美術館をときほぐす

Unravel the Museum

展覧会でスポットライトを浴びるのは「作品」ですが、それ以外にも多くの存在があります。美術館を、普段あまり意識されないことのない、学芸員、監視スタッフ、ガラスケース、鑑賞者である「あなた」を通して、見つめ直すことを試みます。約1万点の収蔵作品のなかから、4組の現代美術家が作品を選び、新作とコラボレーションします。



ミヤケマイ《アート&デザインの大茶会》大分県立美術館、2018年
Photo by Satoshi Shigeta



中崎透《色眼鏡でみる風景》MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館、2020年
Photo by Yuta Togo



津田道子《あなたは、翌日私に会いにそこに戻ってくるでしょう。》NTTインターコミュニケーション・センター (ICC)、2016年 Courtesy of TARO NASU
Photo by Tadasu Yamamoto



伊藤若冲《鸚鵡図》宝暦(1751-64)後期、明和期(1764-72)頃
千葉市美術館蔵(展示期間:7月16日~8月14日)



恩地孝四郎《白亜(蘇州所見)》昭和15年(1940) 千葉市美術館蔵



清水裕貴《あなたはいない》2022年 作家蔵

Reunited with an Artwork

作品と出会い直す



→ 目[mé]《アクリルガス》2018年 千葉市美術館蔵
← 小川信治《ストラスブル》2015年 千葉市美術館蔵

千葉市美術館では「千葉市を中心とした房総ゆかりの作品」「近世から近代の日本絵画と版画」に加えて、「1945年以降の現代美術」を収集しています。2組の現代美術作家が、所蔵されている過去の自分の作品と出会い直し、新作とともにインスタレーションを構成します。



華雪《日》2021.11.11 2021年 作家蔵

「作品」とそうでないものの差は何でしょう？ 毎日の習慣として行っている日記や書、コピー。かたちを持たない匂いや生活用品としての雑貨など、日々の生活のなかで生まれるさまざまな表現をご紹介します。美術館が、作品が、そしてあなたの日常が、これまでと違ったものに見えるかもしれません。

Express in Everyday Life

日常で表現する



前川千帆《阿寒湖/写生帖no.25》昭和32年(1957) 千葉市美術館蔵



井口直人《COPY》2021年 さくらん生活園蔵



文化屋雑貨店による壁かけ時計 2022年



森一風《象図屏風》江戸時代末期 千葉市美術館蔵

EVENT

展
覧
会
関
連
イ
ベ
ン
ト

事前申込制イベントの詳細や申込方法は、美術館ホームページをご覧ください。

*詳細は変更になる場合があります。

ライブパフォーマンス 「一」を書く

琵琶の音色に包まれながら、その場の音や光に呼应して「一」を書きます(完成作品は、同日午後より7階展示室にて展示予定)。

出演→華雪(本展出品作家、揮毫)、石引康子(琵琶)
日時→7月16日(土) 11:00-11:15
1階さや堂ホール | 先着50名 | 無料

アーティストワークショップ くんくんウォーク

「くんくんパスポート」を持ち、匂いに注目して展覧会や美術館内をめぐるります。

講師→井上尚子(本展出品作家)
日時→7月17日(日) ①10:30-12:00 ②14:00-15:30
7階展示室ほか | 定員各6名 | どなたでも(小学4年生までは保護者同伴)
7月6日(水) 申込可 | 無料(要展覧会観覧チケット)

ライブパフォーマンス Inspire ~ストラスプールの夜

閉館後の美術館で、展示作品をテーマにジャズ演奏家が即興音楽を演奏し、そこから得たイメージをもとにライブペインティングを行います。

出演→小川信治(本展出品作家、ライブペインティング)、平手裕紀(キーボード・トランペット)、岩持芳宏(バスクラリネット)、影山宣明(映像)
日時→7月24日(日) 18:15-19:30
7階展示室 | 定員15名 | 7月13日(水) 申込可 | 無料(要展覧会観覧チケット)

アーティストワークショップ 「日」を書く

今日という日が自分にとってどんな日かについて思いをめぐらせ、「日」の字を書きます。

講師→華雪(本展出品作家)
日時→7月31日(日) ①13:30-15:00 ②16:30-18:00
5階ワークショップルーム | 定員各10名 | どなたでも(未就学児は保護者同伴)
7月20日(水) 申込可 | 無料

鑑賞プログラム シュワー・シュワー・アワーズ

ろう者(耳の間こえない方)・難聴者・聴者(耳の間こえる方)のみなさんで展覧会を鑑賞し、作品について手話と日本語で語り合います。ろう者が進行役をつとめます(手話通訳あり)。

協力→手話マップ
日時→8月13日(土) ①11:00-13:00 ②14:30-16:30
5階ワークショップルーム | 定員各6名 | 15歳以上
8月3日(水) 申込可 | 無料(要展覧会観覧チケット)



鑑賞プログラム

とある日の言葉を集める

~目の見える人と見えない人の鑑賞ワークショップ~

とある一日、偶然美術館に集まったさまざまな見方を持つ人が、美術館のいろいろな場所で経験した出来事を語り合います。

講師→視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ
日時→8月21日(日) ①10:30-12:30 ②14:30-16:30
7・8階展示室、5階ワークショップルーム | 定員各6名 | 中学生以上
8月10日(水) 申込可 | 無料(要展覧会観覧チケット)

上映会

「コロナ禍における緊急アンケートコンサート 声の質問19/19 Vocal Question」記録上映

コロナ禍という未曾有の日常のなかで、「声」の質問によるやりとりを行なったコンサートの記録上映(100分)とトーク(30分)を行います。

出演→アサダワタル(アーティスト、近畿大学文芸学部教員/本作総合演出担当)
日時→8月7日(日) 14:00-16:10(13:30開場予定)
11階講堂 | 先着80名(当日12:00より1階にて整理券配布) | 無料

市民美術講座

田中一村

~あれから10年、物語と作品の現在

本展には田中一村《椿図屏風》も出品されます。5階常設展示室にて同時開催中(7月31日まで)の「特集:田中一村 新収蔵作品を中心に」に関連してお話しします。

講師→松尾知子(当館学芸課長)
日時→7月23日(土) 14:00-15:30(13:30開場予定)
11階講堂 | 先着80名(当日12:00より1階にて整理券配布) | 無料

市民美術講座

とある学芸員の夏休み展

本展出品作家やクリエイターとの対話を交えて(オンライン出演含む)、作品や展示構成についてお話しします。

講師→畑井恵(当館学芸員)
日時→8月28日(日) 14:00-15:30(13:30開場予定)
11階講堂 | 先着80名(当日12:00より1階にて整理券配布) | 無料

託児サービスデー

子育て中の方も、安心してゆっくりと美術鑑賞をお楽しみください。保育士の資格を持ったベビーシッターがお子さまをお預かりします(事前申込制)。

日時→7月30日(土)、8月28日(日) 13:00-16:00

同時開催

5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」

休室日→第1月曜日 ※「とある美術館の夏休み」展をご観覧の方は無料

4階子どもアトリエ

「つくりかけラボ08 堀由樹子 | えのぐの森」

日時→7月13日(水)-10月2日(日) 休室日→第1月曜日 無料

観覧料→

一般 1,200円(960円) | 大学生 700円(560円)

小・中学生、高校生無料

●障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。●()内は前売り、市内在住65歳以上の方の料金。前売り券は、ミュージアムショップまたはローソンチケット(Lコード:36462)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて7月15日まで販売(7月16日以降は当日券販売)。●ナイトミュージアム割引として、金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。●本展チケットで5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

*館内にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。体調のすぐれない場合、来館はご遠慮ください。咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底にご協力ください。

次回展予告

「新版画一進化系 UKIYO-Eの美」

日時→9月14日(水)-11月3日(木・祝)

「つくりかけラボ09 大小島真木 | コレスポンドダンス/Correspondances」

日時→10月13日(木)-12月25日(日)

交通案内→

JR千葉駅東口より

●徒歩約15分 ●バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分 ●千葉都市モノレール県庁前方面行「菟川公園」下車徒歩約5分

京成千葉中央駅東口より

●徒歩約10分

東京方面から車では

●京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

*地下に駐車場があります(車高155cmまで)。
**シェアサイクルスポットがあります。



千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8
TEL | 043-221-2311 (代表)
https://www.cma-net.jp

..... 徒歩ルート → バスルート